

ボランティアセンター設置を

市に要望書提出

館山

高齢者サービスの団体・個人

高齢者サービスにかかわる館山市内の団体、個人が19日、「館山市ボランティアセンター」(仮称)に関する要望書を市に提出した。ボランティア

センターは、ボランティア活動したい人と、アのニーズが高まる中、市社会福祉協議会が主導、市が協働する形でセンターを設置することを求めた。

アのニーズが高まる中、市社会福祉協議会が主導、市が協働する形でセンターを設置することを求めた。

アのニーズが高まる中、市社会福祉協議会が主導、市が協働する形でセンターを設置することを求めた。

福祉協議会がボランティアをつなげる業務をしていくという。

ボランティアセンターが設置されていない館山市では、各高齢者施設が個々にボランティアを確保しており、十分にボランティアの活用が図られていないのが現状で、介護保険法の改正でボランティアの役割が重視される中、市に対して設置を要望した。

要望者代表の市通所

サービスの事業所連絡協

議会の宮

本哲也会

長、市へ

ルパー事

業所連絡

協議会の

黒瀬道会

長、市ケ

アマネ

ジャー連

絡協議会

の長嶋祐

一会長、

市リハビ

リテー

ション

ネットワークの高橋伸太郎代表らが、市役所を訪れ、田中豊副市長に要望書を手渡した。

宮本会長は「支援を必要とする人に必要な支援をするため、ボランティアの人たちにもっと活躍してもらうためにセンターの役割はとても重要。住民同士の支え合いの地域づくりに向けて必要な組織で、ぜひ館山市にも取り組んでほしい」と訴えた。



要望書を手渡す宮本会長ら＝館山市役所で